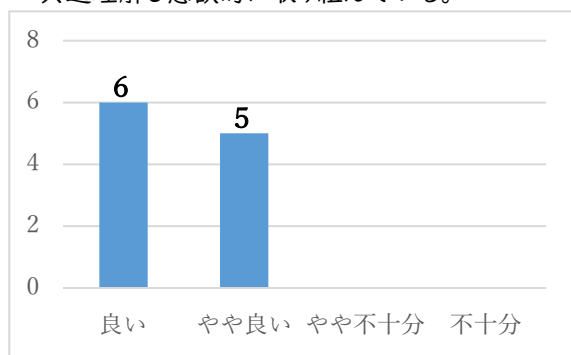
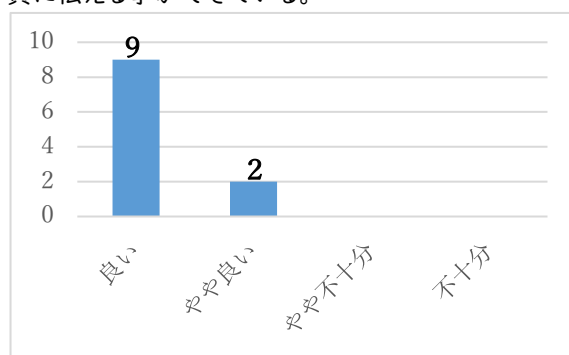


令和6年度学校評価集計【事務・現業】

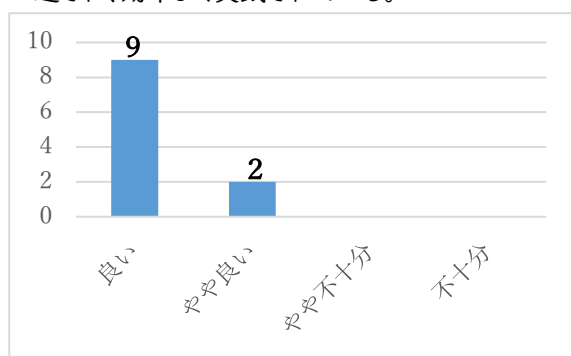
1 【教育目的意義】教育目標達成に向けて、職員が共通理解し意欲的に取り組んでいる。



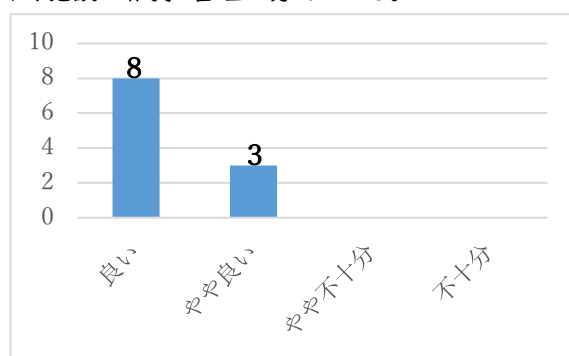
2 【職員会議】必要な月に職員会議に提案し、職員に伝える事ができている。



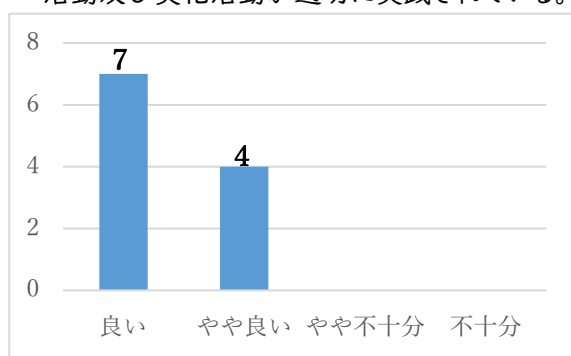
3 【危機管理体制の整備】職員の協働体制が推進され、効率よく実践されている。



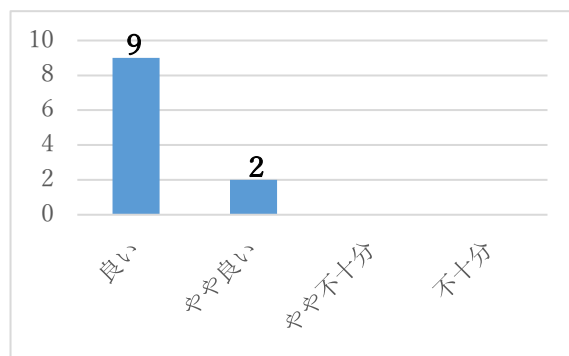
4 【施設設備管理・点検】校舎の安全点検がなされ、施設の維持・管理に努めている。



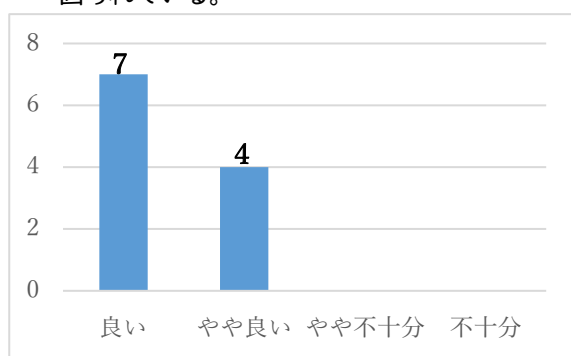
5 【環境美化】全職員協力のもと、計画的な清掃活動及び美化活動が適切に実践されている。



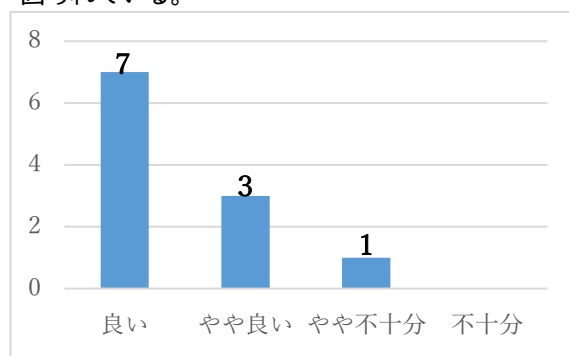
6 【学校行事】全職員共通理解のもと、学校行事の推進と充実が図れている。



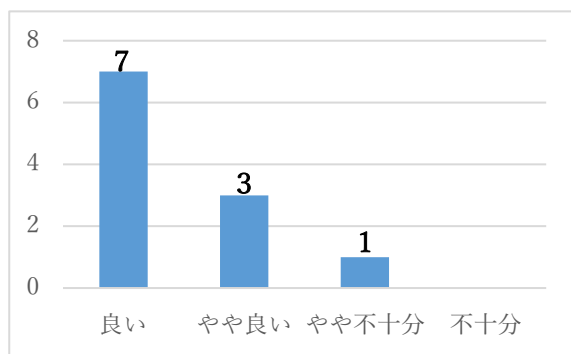
7 【業務の処理】業務の処理の正確性、計画性は図られている。



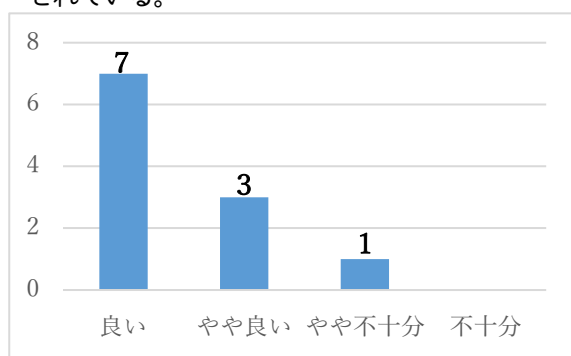
8 【創意工夫】業務を遂行する中で創意工夫は図られている。



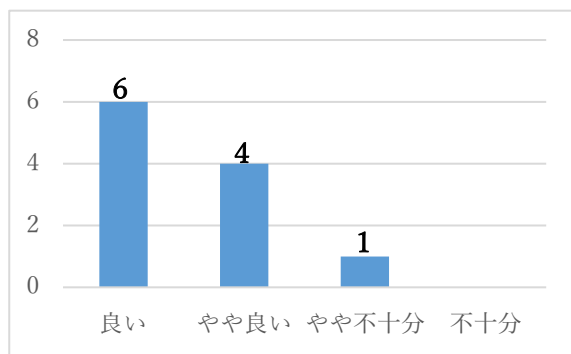
9【業務遂行上の知識】仕事を進める上で必要な知識や情報の習得はされている。



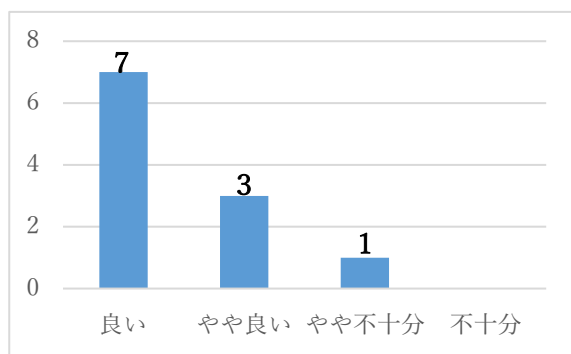
11【協働体制】事務現業部全体で協力体制がとれている。



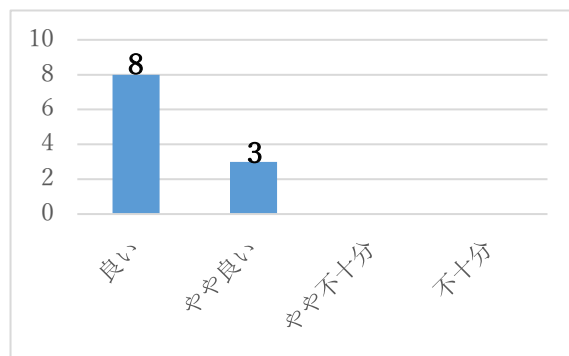
13【職場環境】勤務上の課題や悩み等について、職員が相談し合える雰囲気の職場になっている。



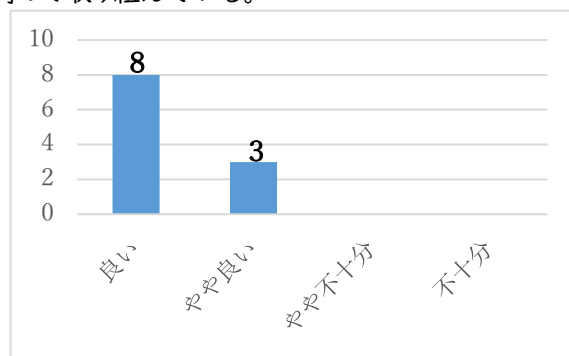
15【働き方改革】職員一人一人が業務の効率化に努めており、負担軽減を意識した働き方改革に取り組んでいる。



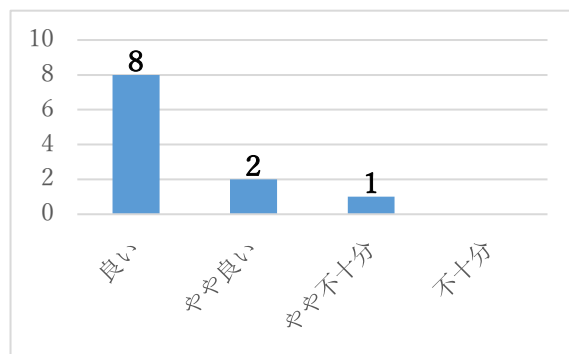
10【接遇】来客、電話対応は適切に行っている。



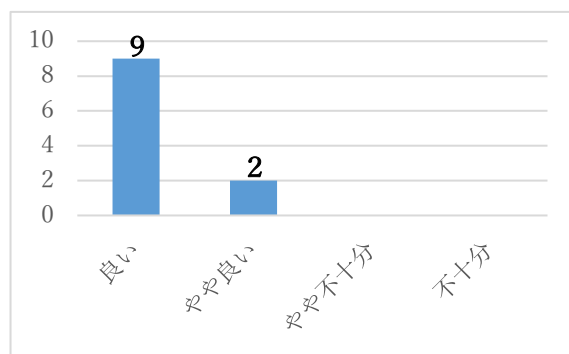
12【責任感】職員は自らの事務分掌に責任を持って取り組んでいる。



14【校内 LAN の活用について】個人情報やセキュリティに留意して、情報の共有化に取り組んでいる。



16【人権意識】人権意識の高揚を図るため、組織的な活動に取り組み、職員の日頃の言動について、人権に配慮した対応となっている。



17 自由記述

(1) 特になし

【結果と考察】

- 1 評価対象は、事務・現業職員11名のうち回答は11名であり、回答率100%となっている。
- 2 全16項目中、10項目において、良好な評価（良い、やや良い）が11名以上であり、概ね良好な結果であった。
- 3 全16項目中、6項目において、改善が必要な評価（やや不十分）があり、特に項目8【創意工夫】や9【業務遂行上の知識】、11【協働体制】、15【働き方改革】においては、協力体制の構築を図るために日頃からお互いがコミュニケーションを多く図り、お互いが仕事をカバーできる環境を整えていく必要があると考える。また、13【職場環境】や14【校内LANの活用について】、においては、セキュリティー環境を整えるために情報部との連携が必要になってくると考える。